

泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画（案）に対するパブリックコメントの結果について（報告）

◇募集期間：令和2年8月11日（火）～9月10日（木）

◇募集方法：郵送、ファックス、電子メール、こども育成課へ持参（また、市内公共施設等に意見書募集箱を設置）

◇提出人数：21人

◇意見件数：54件（うち、計画（案）に対するパブリックコメントとして計上しなかった意見7件）

◇意見概要及び市の考え方

No.	意見・提言の概要	市の考え方
1	<p>【公立施設の存続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育料以外の保護者負担が大きいのが民間。保育所、幼稚園をすべて民間に丸投げするのはやめてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再編にあたっては、柔軟で特色ある運営を行う民間施設を育成・支援することで多様な教育・保育ニーズへの対応を図り、公民の垣根を越えた意見交換を積極的に行うことで、公民相互の連携・協力による教育・保育環境の充実をめざします。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保育行政について、公が責任を放棄するような今回の案には反対。（公立が）国からの補助を受けられないとあるが、事実でないのでは。公設認定こども園での再考を求める。（外同様意見1件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・再編を進めていくにあたって、保育行政に対する市の責任が変わることはありません。 また、計画案に示す「施設及び運営経費について」部分の記述に関して、公立保育所等の施設の建替えにつきましては、一部交付税措置があることから、説明を加える必要があると考えます。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・公立での施設運営こそ、計画案で示された基本理念、質の維持・向上を実現していく道。市内の保育水準について、公立の施設と理念・基準があつてこそ、市からの民間施設への援助・指導が生きてくる。また、公立は子どもの発達を保証する立場から、市立の施設が 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立園は法令等の趣旨を反映した、標準的な教育・保育を実践することで、本市の就学前教育・保育の水準を保つ役割を担います。民間園はそれぞれが特色ある教育・保育を実践し、公立園だけではカバーできない地域の保育ニーズに応えています。 公立、民間が連携し、小学校との円滑な接続を図ることで市全体の就学

<p>5</p>	<p>中心となり、学校等を束ねネットワークをつくり対処していくことができるのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間では制服代や教材費等、保育料以外の費用がかさむと聞く。公立入園時は知らなかったが、在園中に民間園に行くことになってしまい、転園時は費用がこれだけかかるとなると理不尽。自分の子どもが通っていた公立保育所は地域と一体となったとてもよい保育所だった。公立がなくなるのは悲しい。 	<p>前教育・保育の質が向上し、子どもの健やかな育ちにつながります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編にあたり、民間園に転園などの状況になった場合については、できる限り保護者負担が大きくなるよう配慮していきたいと考えます。また、教育保育水準の維持向上や、特別な配慮を必要とする子どもへの支援、地域の子育て支援等といった役割を担うため、公立施設は存続します。
<p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの小学校区に、公立の就学前教育・保育施設があるのが泉大津の魅力。行事で地域の方との交流もできている。市内すべての民間園は各小学校と交流しているのか。市が財政難だからというだけで民間に委託するのはどうかと思う。公立、民間両方の選択肢があるのが泉大津のいいところではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の少子化、保育ニーズの多様化等の状況下にあって、子どもにとって望ましい集団規模を確保し、教育・保育の質を維持向上させていくためには、就学前教育・保育施設の再編は不可欠なものと考えています。また、就学前教育・保育施設においては、小学校への適切なつなぎということも大きな役割でありますので、公立と民間の間で差が生じないように、小学校、民間園とも連携を取りながら、子どもにとってよりよい教育保育環境の提供を図ってまいります。
<p>7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・泉大津市は小さな市なので、地域との繋がりがしっかりしている。公立をここまで減らすのは市の魅力が減ってしまう。幼稚園は幼稚園の、保育所は保育所の、公立には公立の、私立には私立の良さがある。市民はそれを自ら選択し、自分の理想に近い子育ての実現を目指している。私立を望む場合は市外も検討できるが、公立を希望する場合は住居の近くが理想。市内から公立がなくなっていくということは、その点におい 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案において、公立施設の数現状より減少しておりますが、再編により、子どもの健全な育ちを保障できる適正規模の集団が確保でき、また、公立の保育士を集約することでより適正な配置が可能になり、保育士の職場環境改善、ひいては子どものよりよい育ちにつながると考えております。

	<p>てよくないのでは。(外同様意見1件)</p> <p>9 ・公立の先生の保育のスキルは高い。だからこそ、首の座っていない子でも安心してお願いできる。その公立の保育所を少なくするのは、子どもの命に関わる問題でもあるので、公立保育所は一つでも多く残してほしい。</p> <p>10 ・今後できる認定こども園はすべて民間に任せるとなると、校区によって公立しかない校区、民間しかない校区ができることになり、そこに差異が出ないのか。</p> <p>11 ・子どもが入園前、市内のこども園に園庭開放で訪れたが、先生の指導法に疑問を感じた。保育所やこども園は荒っぽく感じる。公立幼稚園をなくさないでほしい。</p> <p>12 ・公立幼稚園のよさは、大多数の児童が同じ小学校に行くという安心感。これは、保護者にとっても就学前に顔見知りになったり、情報交換ができたり、同じことが言える。入学前には給食体験等、地区の小学校との連携もある。大きな災害が起こったときに、最終的に同じ場所に避難するというのは、きょうだいがいる保護者としては非常に大きなポイントだった。</p>	<p>・再編を通して職員を適正に配置し、教育保育に関するノウハウが適切に継承できる体制を整えてまいります。また、公立と民間の間で、本市の子どもたちを市全体で育てていくという協力体制をより強固なものにするよう進め、学び合い、切磋琢磨しながら、全体として本市の就学前教育・保育を支えていくものと考えております。</p> <p>・公民が適切に役割分担を行いながら、全体として本市の就学前教育・保育を支えていくものと考えておりますので、今後も民間園と定期的に意見交換を行い、各園において提供する基本的な教育・保育の質に差が出ないように取り組んでまいります。</p> <p>・本市では、幼稚園と保育所がこれまで培ってきた実績を活かし、幼保の一体化を推進してきました。今後も職員の資質の向上を図り、質の高い教育・保育を提供できるよう取り組んでまいります。</p> <p>・就学前教育・保育施設においては、小学校への適切なつなぎということも大きな役割としてありますので、各校区の施設が公立であっても民間であっても、小学校との円滑な接続に係る幼児と児童の交流の機会や、教職員間の交流や研修の機会について差が生じないように取り組んでまいります。</p>
--	--	---

13	<ul style="list-style-type: none"> ・公立は「食」に力を入れているので、民間でも同じようにしてもらえるのか。子どもたちがお世話をした野菜を使った昼食は教育にも成長にもいいと思う。小学校区内に公立がなくなる不安ほどの保護者にもある。遠くの公立に通うことになって、近所の友達ができないのはかわいそう。公立でもプールや英語など、特化した教育をしてもらえると、少し遠くても公立に通おうと思える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立園では法令等の趣旨を反映した、標準的な教育・保育を実践することで、本市の就学前教育・保育の水準を保つ役割を担い、民間は特色ある教育・保育を実践し、公立園だけではカバーできない地域の保育ニーズに応えています。今後においても、公立と民間の間で、本市の子どもたちを市全体で育てていくという協力体制を構築してまいります。
14	<p>【保育士の処遇改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給与面や職員確保、担任の正規職員化など、保育士の処遇改善をお願いしたい。(同様の意見外8件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の給与については、正規・非正規を問わず地方公務員の給与決定に関する諸原則に従い定めているものであり、保育士の給与のみを変更することは困難な状況ですが、保育士の適正な職場環境整備の一つとして、人員補充による体制整備を進めております。また、今後、再編を進めていく中で、公立の保育士を集約することでより適正な配置が可能になり、保育士の職場環境改善、ひいては子どものよりよい育ちにつながると考えております。
23	<p>【各園所について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戒保育所は少人数であり、どの先生も自分の子を知っていてくれてよかった。乳児を安心して預けられる公立保育所であるので、なくさないでほしい。(同様の意見外2件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・戒保育所は0～2歳の低年齢児のみの施設であり、3歳児クラスに上がる際には別の施設に移らなければならないことと、平成30年のえびす認定こども園の開園により、入所希望者が少ない傾向にあるため、計画案第1期に位置付けております。市全体の就学前教育・保育行政を鑑み、少子化、保育士不足等の課題を抱える中であって、再編を通して質の高い教育・保育を将来にわたって提供していく体制整備を図ってまいります。
26	<ul style="list-style-type: none"> ・戒保育所を待機児童解消園として残してもよいので 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士不足により待機児童が解消できない課題がある中、公立施設を本

	は。	市にふさわしい適正な規模で運営していくためには、再編を進めることが必要で、職員配置の面でより効率的な施設運営が可能になると考えております。
27	・条東保育所、幼稚園の民間認定こども園化には反対。小規模の保育所の方が、先生が目も行き届いている。	・遊びを通して人や物との関わり深めながら社会性等を身に付けられる就学前の時期において、一定の規模を有する集団での保育が必要と考えます。市全体の就学前教育・保育行政を鑑み、再編を通して質の高い教育・保育を将来にわたって提供していく体制整備を図ってまいります。
28	・条南小学校区の保護者は、公立（保育所）がないため校区外の公立園所に通わせている。その子は同じ小学校に上がる子もおらず、子ども親も不安。条南校区に公立のこども園を作ってほしい。	・就学前教育・保育施設においては、小学校への適切なつなぎということも大きな役割としてありますので、各校区の施設が公立であっても民間であっても、小学校との円滑な接続に係る幼児と児童の交流の機会や、教職員間の交流や研修の機会について差が生じないよう取り組んでまいります。
29	・旭校区で育ってきた。旭保育所は今はなく、今度は旭幼稚園まで廃園し、民間園だけになるのは反対。旭幼稚園をなくさないでほしい。	・子どもにとって望ましい集団規模を確保し、教育・保育の質を維持向上させていくためには、就学前教育・保育施設の再編は不可欠なものと考えています。 また、就学前教育・保育施設においては、小学校への適切なつなぎということも大きな役割でありますので、公立と民間の間で差が生じないように、小学校、民間園とも連携を取りながら、子どもにとってよりよい教育保育環境の提供を図ってまいります。
30	・認定こども園化するなら、要保育所の場所でなく、子どもがのびのび遊べる園庭のある穴師幼稚園の場所にしてほしい。小学校も近く、通学路を覚える練習に	・計画案においては、再編のための公立の施設整備は行わないこととしております。穴師幼稚園は、認定こども園化するには施設整備が必要になることから、現時点においては、要保育所を認定こども園化することが

	もなる。	望ましいと考えています。
31	・穴師幼稚園が廃園し、要保育所で認定こども園化するなら、せめて名前を認定穴師こども園にしてほしい。	・再編後に新しくできる施設の名称については、総合的に判断してまいります。
32	・穴師幼稚園の跡地は何も作らず、要保育所が老朽化した時にまたこの土地に就学前施設を建設できるよう残してほしい。緑があって小学校も隣にあるととても良い場所である。(外同様意見1件)	・再編によって生じた跡地の活用については、市全体で有効な活用方法を検討してまいります。
34	【施設について】 ・再編時に老朽化した施設をそのまま使用するのは危険。ぜひ改修工事をしてほしい。(外同様意見2件)	・就学前教育・保育施設再編を考えるにあたって、第一に考慮すべきは子どもの健やかな成長です。この前提には、施設の安全性の確保がありますので、現に子どもが在園する施設については、安全性の確認及び必要な修繕や改修を行ってまいります。
37	・えびす認定こども園は増築や人工芝など施設面も充実しているが、築年数の古い施設の改善を望む。子どもがどの園に行っても同じような環境で保育してほしい。	・施設改修に当たっては、安全性の確保を第一に、計画的に進めてまいります。
38	【その他】 ・計画の進行状況によっては、きょうだい別々の園に通わなければならない園児が出てくる。未就園児のいる家庭に、健診時やLINEなどのツールを活用し、もっと知らせるべき。	・計画案の周知については、適切な時期に丁寧な周知・説明を行うよう努めます。
39	・少子化が進んでいるからこそ、保育の充実を進め、若	・より質の高い教育・保育環境を整備し、子育てしやすいまちをめざしま

	い世代の流入に努めるべき。	す。
40	・認定こども園利用者数がこの10年で5倍になっている。(こども園の)キャパは足りているのか。	・就学前教育・保育施設の定員については、人口動態と、教育・保育に係る需要量の見込みから、適正な供給量となるよう設定しております。
41	・再編後、校区により就学前教育・保育施設の数にバラつきが出るのでは。	・地域ごとの人口動態と、教育・保育に係る需要量の見込みから、適正な規模の施設を適正に配置してまいります。
42	・民間運営主体の選定はプロポーザル方式とのことだが、談合の可能性を考え、市民(保護者)からの公募による委員選出が必要。	・民間運営主体については、プロポーザル方式の手続きの中において、適正に選定してまいります。
43	・甥が3歳で私立幼稚園に入園し、発達障がい疑いがあるとわかると4歳からは保育できないと強制的に退園させられ、公立に通い直した。小学校区内に私立しかなく公立に通えなくても、加配の先生をつけるなど対策を講じ、転園させられることのない環境づくりを望む。	・就学前教育・保育施設において、すべての子どもたちが集団生活を通して発達や成長が促される環境づくりに努めます。
44	・公立園同士のつながりしかない。民間が増えるなら、もっと公民のつながりを増やした方がよい。	・市では、民間園長で構成される協議会と定期的に会議を設けており、様々な意見交換を行っています。今後においても、公立と民間の間で、本市の子どもたちを市全体で育てていくという協力体制をより強固なものにするよう進め、学び合い、切磋琢磨しながら、全体として本市の就学前教育・保育を支えていくものと考えております。
45	・支援センターができるのは良いことと思う。運営は市	・本市において、児童発達支援センターの設置が急務であるという課題は

	<p>で行うのか。どのような支援が受けられるのかなど詳細の説明がほしい。支援センターをつくるために戒保育所がなくなって、待機児童が増えないのか。</p>	<p>ありますが、あくまでも再編計画が先にあるものと考えています。児童発達支援センターの詳細については、今後検討していく予定です。</p> <p>また、待機児童に関しては、就学前教育・保育施設の定員について、人口動態と、教育・保育に係る需要量の見込みから、適正な供給量となるよう設定しております。</p>
46	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園に初めて子どもを預ける保護者が戸惑わないよう、ホームページ上にこども園を選ぶときのよくある質問のコーナーを作してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案を含め、子育てに係るさまざまな情報の周知については、ホームページや、各種 SNS などの媒体も活用し、保護者の皆様にわかりやすい情報発信に努めます。
47	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園化したとき、お迎えの時間が保育園部と幼稚園部で異なってくるので、その時に保育園部の子どもたちが、自分の親はまだ迎えに来てくれないと悲しい気持ちにならないようにフォローしてあげてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園では、多様な環境の子どもたちが一緒に生活することで、それぞれの違い、お互いを認め合うことを自然と学ぶことができる場です。ただし、ご指摘のような状況等、子どもの健やかな成長を阻害する状況にならないよう、子どもの気持ちに寄り添った教育・保育を心がけています。